



2019年11月29日 ～ 12月19日までの活動

●先端技術推進委員会

11月29日(金) 金沢市

ANAクラウンプラザホテル金沢において、「2019年度第1回先端技術推進委員会」が開催され、20名の委員が出席した。

冒頭、澁谷委員長から産学連携に重点をおいて取り組んでいきたい旨の挨拶があった。その後、2019年度事業の実施状況、評価・方向性について審議を行い了承された。各委員からは、北陸産学技術交流会の実施、各大学での産学連携の取組み、イノベーション人材育成等について意見が交わされた。(担当:坂井)

●先端技術講演会

11月29日(金) 金沢市

ANAクラウンプラザホテル金沢において、先端技術講演会が開催され、先端技術推進委員会の他、企業・大学から約40名が参加した。

少子高齢化社会をサポートする医工融合技術「壊し、つくる骨代謝～工学分野から見た骨再生戦略～」と題して、金沢工業大学・大学院教授 医工融合技術研究所所長の新谷一博様よりご講演を頂き、その後、質疑応答を行った。(担当:坂井)

●関西北陸交流会

12月2日(月) 福井市

JR西日本主催の関西・北陸交流会が福井市にぎわい交流施設「ハピリンホール」で開催された。真鍋JR西日本会長、来島JR西日本副会長、長谷川JR西日本社長、板崎北陸信越運輸局長、八木近畿運輸局長、杉本福井県知事、松本関西経済連合会会長ほか、両地域の自治体、経済団体、観光団体などの関係者約130名が参加した。当会からは久和会長が出席し、「敦賀開業から切れ目のない着工・2030年頃までの大阪までの早期全線開業について、強く要請している。大阪までの早期全線開業には関西での機運の高まりが不可欠であり、北陸・関西双方のすべての関係者と一致団結し、行動を起こしていきたい」と、松本関西経済連合会会長、尾崎大阪商工会議会議長、池田関西経済同友会代表幹事とともに意見表明を行った。その他、「北陸新幹線金沢・敦賀間延伸とインバウンド需要の拡大に向けて」をテーマにパネルディスカッションが行われた。(担当:橋本)

●2019年度第1回国際交流推進委員会(北陸AJEC企画部会と合同開催)

12月3日(火) 金沢市

金沢ニューグランドホテルで開催した。江守委員長は開会挨拶の中で「国際情勢が激変し、日本経済にも大きな影響が出た1年だった」と振り返った。

まず、2019年度事業計画の実施状況について報告した。北陸の大学への留学生と北陸企業との就職に関する意見交換の取組みに関し、インターンシップ制度の活用について意見が交わされた。

次に、2020年調査研究(案)・国際交流事業(案)について審議した。今年度休止した北陸韓国経済交流会議については、今後の日韓関係の状況を見て開催を検討することで一致した。(担当:高島)

●中部・近畿経済局との懇談会

12月4日(水) 福井市

ザ・グランユアーズフクイにて、「第26回中部・近畿経済産業局との懇談会」を開催し、中部経済産業局高橋局長、近畿経済産業局桑原総務企画部長、久和会長など52名が出席した。

久和会長、高橋局長、桑原部長の挨拶につづき、北経連から以下のとおり報告を行った。

高木副会長:「北陸近未来ビジョンについて」

光野常任理事:「社会基盤整備について」

澁谷常任理事:「産業振興について」

小林常務理事:「国際化の促進について」

次に、中部経済産業局より「令和2年度の概算要求のポイント」、「ITものづくり人材育成に向けた取組み」について報告があった。

続いて自由懇談では、「北陸近未来ビジョン」で掲げる「スマート・リージョン北陸」の実現に向けて、菱沼副会長より「最先端技術の導入および人材育成の強化」、伊東副会長より「外国人労働者の受入体制の充実」、加藤常任理事より「北陸地域の連携強化」、吉田常任理事より「女性の活躍促進」についてそれぞれ質問を行い、意見交換を行った。

最後に高橋局長から「One Hokuriku」の実現に向けて連携を進めていくこと、川田副会長より北経連として「スマート・リージョン北陸」を具現化していくと発言された。(担当:小林)



●第9回北陸観光サロン

12月5日(木) 福井市

福井駅東口にある福井県民ホールにて中央日本総合観光機構との合同セミナーとして開催、観光に携わる関係者約90名参加した。北陸観光サロンは2015年北陸の広域観光を考えることを目的として北陸経済連合会内に創設され今回が9回目となる。過去には次のような方々に基調講演をして頂いている。

第4回：フランスでミシュランと並び称される

ゴ・エ・ミヨのクライ日本代表

第5回：Airbnb(エアビーアンドビー)

ジャパン社の田邊社長

第7回：「世界一訪れたい日本のつくりかた」の

著者のデービット アトキンソン氏

第8回：大阪観光局の溝畑局長

今回は、元ドンキ・ホーテ社のインバウンドプロジェクトの責任者で現在日本インバウンド連合会の中村理事より「観光立国革命～インバウンドが切り拓く北陸の未来～」という題目で基調講演をして頂いた。また、在東京にあるドイツ系国際コンサルティングのYuzu Kyodai社のSven代表より「Zen, Alive Fukui、ドイツからの誘客の可能性」との題目で提言を頂いた。ドイツではZenがブームであり、「マインドフルネス(日本語では瞑想と訳される)」という世界共通語が今後の北陸・福井にとり重要との内容で示唆に富む内容であった。

今後、福井県の永平寺、石川県の総持寺祖院や鈴木大拙館、富山県の瑞龍寺など北陸3県での取組が期待される。(担当：杉山)

●西村経済財政政策担当大臣との意見交換会

12月8日(日) 金沢市

内閣府主催でANAクラウンプラザホテル金沢にて開催され、地元からは金沢商工会議所の安宅会頭、金沢経済同友会の福光代表幹事、北経連の久和会長らが出席した。

当日は、経済の現況や経済政策への提案、全世代型社会保障改革への提案などをテーマに、西村大臣と地元経済界との意見交換が行われた。

久和会長からは、海外経済の減速影響等による景況感の悪化、社会保障制度維持のための給付と負担の見直し(高齢者の負担増、現役世代の負担減)のほか、北陸新幹線の大阪までの早期全線開業の必要性について発言した。

(担当：鳥山)

●2019年度第1回 社会基盤整備委員会

12月9日(月) 金沢市

ホテル日航金沢で開催した。冒頭、光野委員長が「北陸新幹線の一日も早い大阪までの全線開業に向けて引き続き取り組み、道路・港湾・空港等の交通・物流ネットワークの強化に向けて要望活動を行っていく」と挨拶した。

2019年度事業計画の実施状況と評価・方向性について審議し、その後、事務局から北陸新幹線開業前倒しによる経済波及効果に関する調査結果を報告した。

委員からは、北陸新幹線全線開業に向けて「関西経済界との連携が重要であり、特に京都への働きかけが必要」、また港湾・物流について「北陸の港湾から上海等への航路増開設など物流強化の取り組みをして欲しい」等の意見が出された。

(担当：高島)

●会員懇談会石川会場

12月10日(火) 金沢市

2019年度会員懇談会(石川会場)を金沢ニューグランドホテルにて開催し、会員約110名が出席した。

懇談会では、久和会長の挨拶の後、「5G(第5世代移動通信システム)」をテーマとして講演会を行った。

最初に(株)NTTドコモ取締役常務執行役員ネットワーク本部長 田村穂積氏より「ドコモの5Gの取り組み」と題して、2020年春にサービス開始予定の5Gへのドコモの取り組みや目指す世界について講演頂いた。

次に富士通(株)ネットワークサービス事業本部 ビジネス・技術戦略室長 大澤達蔵氏より「DX(デジタルトランスフォーメーション)をみちびく『つながるローカル5G』」と題して、製造現場などでのローカル5Gの活用や課題について講演頂いた。

続いて、コマツ スマートコンストラクション推進本部 事業開発部 主幹 村上数哉氏より、「5Gがもたらす未来の建設現場」と題して、コマツのスマートコンストラクションへの取り組みと5Gを使った重機の遠隔操作について講演頂いた。

講演後、会員からの質疑応答や意見交換を行い、講演会終了後懇親会を実施した。

(担当：小林)



●2019年度 第1回広域観光推進委員会

12月12日(木) 金沢市

金沢ニューグランドホテルで開催し、15名の委員が出席した。

加藤委員長の挨拶の後、「2019年度事業計画の実施状況と評価・方向性」について審議を行い、了承された。

各委員からは、「マンガ・アニメ・ゲームは3点セットで取り組む内容で、北陸には、有名な漫画家や聖地巡礼スポット、eスポーツの土壌があり、新たな取組として考えたかどうか」「富裕層に向けた取組みとして、欧米豪+アジア富裕層について調査すべきではないのか」

「北陸物語(冊子・HP)は英語だけではなく多言語対応したらどうか」等の意見を頂いた。

また、その後の勉強会では、北陸経済研究所より「2019年度案内表示等の多言語表記調査(中間報告)」及び「2019年度北陸イメージアップ基礎調査(中間報告)」を報告し、活発な意見交換を行った。

(担当:狩野)

●2019年度第3回 総合対策委員会

12月16日(月) 金沢市

ホテル日航金沢で開催し、18名の委員が出席した。

稲垣委員長の挨拶の後、「2019年度事業計画の実施状況と評価・方向性」および「2020年度事業活動方針(案)」について審議を行い、了承された。

当日は、第五次中期アクションプランの検討に向けた意見が交わされ、「現在の延長線上でできること、新たな発想で取り組むことを分けて考えるべき」、「優先順位をつけて施策を検討すべき」、「若者を育てることに加え、即戦力としてのシニア層の活用も必要」、「これからは若い女性に選んでもらえる地域にしていく必要あり」などの指摘があった。

このほか、「政府に対する北陸経済界からの要望活動」(当会単独要望)、「第五次中期アクションプラン策定のための基礎調査」、「経団連との連携協定に基づくマッチング(ワークショップの開催)」についてそれぞれ報告を行った。

(担当:鳥山)

●第346回常任理事会

12月18日(水) 金沢市

第346回常任理事会が、ホテル日航金沢で、25名が出席して開催された。

久和会長の挨拶の後、「2019年度事業計画の実施状況と評価・方向性・収支」および「2020年度事業活動方針(案)」について審議を行い、了承された。

この他、「政府に対する北陸経済界からの要望活動」、「久和会長の大阪万博財務委員就任について」などが報告された。

また、前田常任理事(西日本旅客鉄道(株)執行役員金沢支社長)から10月の台風19号による北陸新幹線の被災についてその被災状況と普及状況について説明して頂いた。

頂いたご意見を踏まえた2020年度事業活動方針は新春経済懇談会にて発表する。

(担当:小山)

新規加入会員 (敬称略)

〔住友商事株式会社〕

執行役員中部支社長 犬伏 勝也

(業種:総合商社)

〒450-6644 名古屋市中村区名駅1丁目1番3号

JRゲートタワー44階

Tel: 052-583-2010 Fax: 052-583-2001

お知らせ

■第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム
～スポーツ×文化×観光。3庁長官が金沢で語る。～

【日時】2020年1月15日(水) 13:00開会

【会場】金沢市文化ホール

【主催】スポーツ庁、文化庁、観光庁

【協力】北陸経済連合会北陸観光サロン、

金沢商工会議所、金沢経済同友会、石川県経営者協会

【参加】申込先着

【申込】金沢文化スポーツコミッション

電話: 076-220-2535

E-mail: info@kanazawa-csc-kk.jp



■ 5Gとオープンデータ活用によるSDGs 推進セミナー

【日時】2020年1月21日(火) 13:00~16:30

【会場】石川県地場産業センター本館第2研修室

【主催】総務省北陸総合通信局

【参加】無料(定員80名)

【申込・問合せ】北陸総合通信局 情報通信振興室

電話:076-233-4430

E-mail:hokuriku-shinkou@soumu.go.jp

専用HP:<https://jiji.smartseminar.jp/public/seminar/view/265>

■IoT導入支援セミナーin能美

【日時】2020年2月7日(金) 13:30~17:00

【会場】石川ハイテク交流センター A会議室
(石川県能美市旭台2丁目1番地)

【内容】IoTの基礎知識・技術関連法制度・活用

【主催】総務省北陸総合通信局

【参加】無料(定員30名)

【申込】2020年1月31日までにweb申込

<https://regist1.lstep.jp/iot/apply/nomi/>

【問合せ】総務省北陸総合通信局

情報通信部電気通信事業課

電話:076-233-4420

今後の活動予定

・1月23日(木)

15時~16時30分 新春経済懇談会

16時30分~17時30分 新年祝賀会

場所:ANAクラウンプラザホテル金沢

・2月3日(月)

14時30分~会員懇談会(福井会場)

場所:福井県県民ホール(AOSSA8階)

■ お願い

「北経連トピックス」は、
2020年からメール配信になります。
ご登録が未だの方は、[越野 yamar@hokkeiren.gr.jp](mailto:yamar@hokkeiren.gr.jp)
まで、ご連絡お願い致します。

今年も、会員皆様には、大変お世話になり
有難うございました。

来年も、事務局一同、頑張ってまいりますので、
宜しくお願い致します。

どうぞよいお年をお迎え下さい。

北陸経済連合会事務局一同